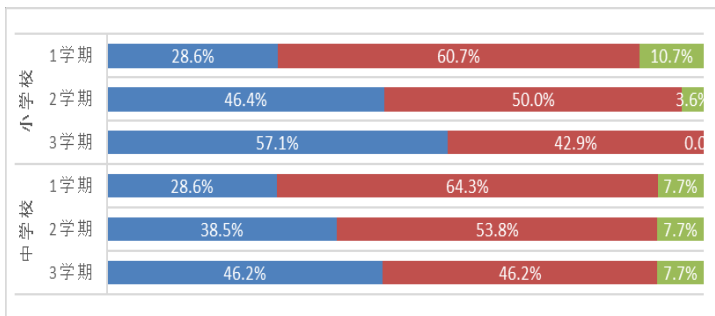


令和元年度 いじめ防止対策改善プログラム自己点検シート（まとめ）について



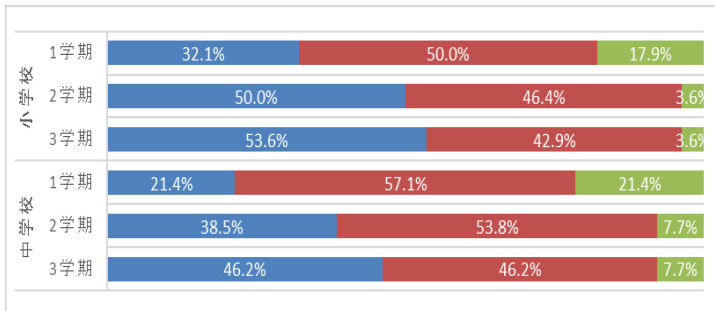
○…成果 ▲…課題

◆ 互いに認め合い、支え合い、助け合う仲間づくりができたか



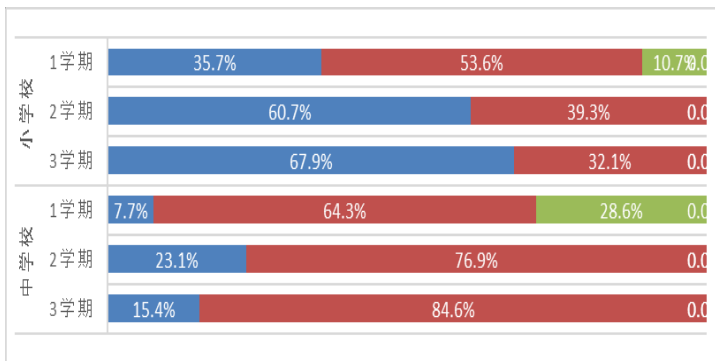
○豊かな心の育成と「あいさつ・笑顔・ありがとう」の取組を継続している。
 ○児童会が主体となりスローガンを決め、劇や集会などを通じて毎学期呼び掛けている。
 ○全校遊びに取り組んでいる。

◆ 命や人権を尊重する豊かな心を育むことができたか



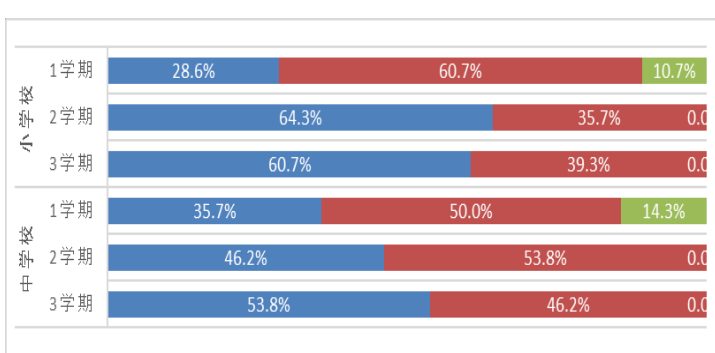
○毎月1回、「道徳デー」として児童と保護者が話し合う機会を設けている。
 ○加古川養護学校との交流を定期的に行っている。
 ▲「考え、議論する道徳」への質的転換を進めていく必要がある。

◆ 家庭や地域への働きかけができたか



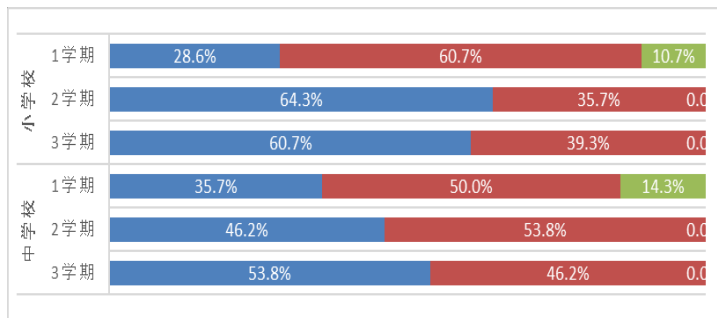
○学校行事や参観日、教育相談等保護者が来校する機会を多く作った。
 ○保護者を対象とした教育相談日の実施
 ○学校だよりによるアセス・教育相談のアナウンスをしている

◆ 学校環境適応感尺度「アセス」が適切に活用できているか



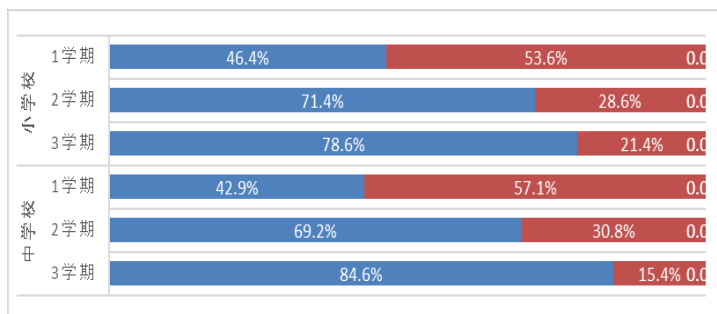
○アセスの結果をもとに支援の検討会を実施し、見守りの目が増えている。

◆ 児童生徒の相談行動の促進ができているか



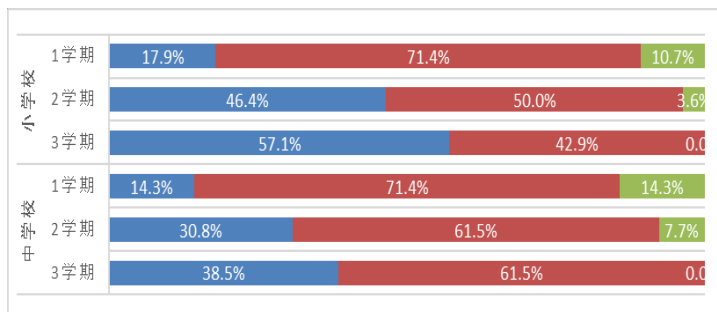
○毎月の生活アンケートを実施し、生徒の不安感を聞き取るようにしている。
○教員が昼休みや教室等で積極的に生徒と交流し、共感理解に努めた。

◆ 双方向（学校家庭間）からの実態把握と情報共有がなされているか



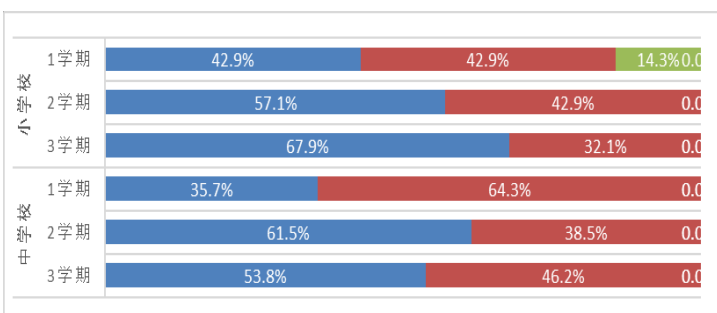
○保護者を対象とした教育相談日の実施

◆ 研修の充実による教職員の資質と指導力の向上がなされているか



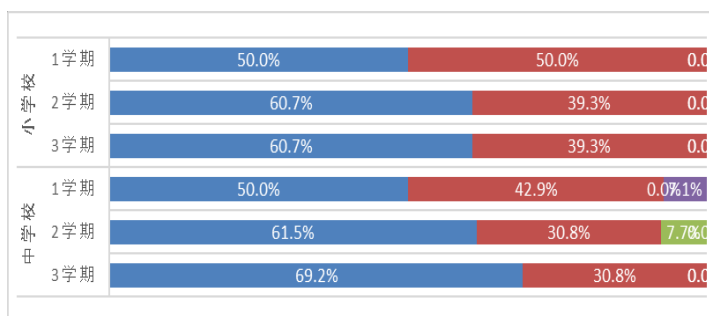
○保護者を対象とした教育相談日の実施
○道徳において一人一授業の研究を4年間継続している。
○協同的探究学習やすべての児童が参加・活躍できる「わかる授業」づくりを進めている。

◆ 「チーム学校」による組織的な対応がなされているか



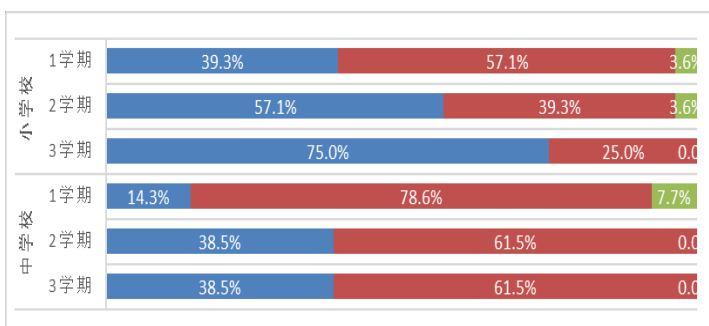
○スクールカウンセラーによる月2回の相談日の設定。
○SSWを入れたケース会議の実施
○月に一度、「いじめ対応チーム」において情報共有、話し合いの場を設定。

◆ 関係機関との連携を強化した取組がなされているか



- インターネットトラブル防止講座の実施。
- 関係機関との連絡を密にし、共通理解を図りながら取り組んでいる。

◆ 推進体制・検証体制を整える取組がなされているか



- 学期ごとにいじめ対策の検証を行い、危機管理意識の向上を図っている。
- ▲いじめ対応チームの周知を進めていくことが必要。

◎ 総括

ほとんどのチェック項目において「できた、おおむねできた」のポイントが上昇しており、年間を通して、いじめ防止対策改善プログラムを計画的に遂行できていることが伺える。各校において、児童・生徒の支え合いや仲間づくりを狙いとした行事や児童会活動、学級活動は工夫されているが、アンケートの数値からは課題があるとした学校もある。ユニットや学校間の情報共有、教育委員会からの発信などにより、これまでの各校の取組をより充実させるとともに、道徳教育をはじめとした授業改善を進めていくことで、学校生活全体を通して、児童生徒の自己有用感や仲間意識の高まり、学校への愛着を深められるよう教育活動を充実させていく必要がある。